

VI 広報活動

1 情報誌「赤谷の森だより」の発行

赤谷プロジェクトの取組等を普及するため、「赤谷の森だより」を年3回、第14号から第16号まで発行しました。平成22年度からは、より親しみやすくわかりやすものとなるよう誌面のリニューアルを行いました。各号の主な内容は以下のとおりです。

発行部数は1回当たり12,000部で、みなかみ町の全戸へ1部ずつ配布するとともに、図書館等の公共機関にも配置しています。



	主な記事のタイトル	執筆者（敬称略）
第14号 (5月)	赤谷の森でわかったこと「生活を支えていた赤谷の森」	茅野恒秀 (岩手県立大学講師)
	赤谷プロジェクトに望むこと	西田真哉 (トヨタ白川郷自然学校学校長)
第15号 (9月)	赤谷の森でわかったこと「センサーカメラとテンモニ隊の活躍」	足立高行 (応用生態技術研究所所長)
	赤谷プロジェクトに望むこと	藤江達之 (前関東森林管理局計画部長)
第16号 (2月)	赤谷の森でわかったこと「自然の森の姿」	亀山 章 (東京農工大学名誉教授)
	赤谷プロジェクトに望むこと	江戸家猫八 (動物ものまね演芸家)

2 ホームページによる広報活動

赤谷センターでは、赤谷プロジェクトの活動の一環として、ホームページを運用し、イベント情報や「赤谷の森だより」の掲載など情報発信に努めています。

平成22年12月から、赤谷の森の様子やプロジェクトの取組等をよりわかりやすく皆様にお伝えするため、「赤い谷のブログ～プロジェクトの現場より～」を立ち上げました。（<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/akaya/photosouko.html>）

赤谷プロジェクトに直接関わっている立場として、日頃感じていることや赤谷の森で出会った動植物などについて、写真と合わせてお届けしています。

これからも、皆様に親しみやすいブログにしていきたいと思っておりますので、内容に対する御意見等がございましたら、是非、赤谷センターまでお寄せください。



The screenshot shows a web browser window with a title bar and address bar. The main content area features a large landscape photo of a valley with mountains under a blue sky. Overlaid on the right side of the photo is the text '赤い谷のブログ' (Red Valley Blog) in large red characters, with 'プロジェクトの現場より' (From the Project Site) written vertically in smaller red characters below it. Below the photo is a navigation menu with '最新の記事' (Latest News) and a list of dates from 2011年1月1日 to 2011年2月12日. The main article is dated '2011年2月' and '2011年2月25日(金曜日)'. The title is '【輪かんじき】ってどやって作るんだいのお？(群馬弁)'. The text describes a workshop where participants made wheels using 'Aburachan' wood. It includes two photos: one showing people working on wheels and another showing a finished wheel. The text explains the process of shaping the wood and securing it with wire.

最新の記事

- 2011年1月1日
- 2011年1月11日
- 2011年1月18日
- 2011年1月29日
- 2011年1月31日
- 2011年2月9日
- 2011年2月12日
- 2011年2月12日

2011年2月

2011年2月25日(金曜日)

【輪かんじき】ってどやって作るんだいのお？(群馬弁)

そんな素朴な疑問を解決すべく、2月赤谷の日にてサポーターとともに【輪かんじき】作りを体験しました。先生は赤谷P地域協議会の 園さん！(写真のおしゃれハンティングの方)。深沼釣りや狩猟、猛禽調査や配線工事もこなすお話し上手な理想的な山男。僕はファン。



この地域では輪の部分の材料は【アブラチャン】という長くしなる木を使います。お湯に入れたらじんわり曲げて、水でさまして乾燥させると、形は自由自在！…らしい。(当日は時間がなくて事前に用意してもらいました。)

堅いサクラの木で作ったツツの部分に合うように輪をノミで削って、銅線で固定。

【作業風景】



足を乗せる紐部分を絶妙な方法で結わえ、完成！写真の様な作り方で磨きます。

今はスノーシューが流行と思っている方、侮るべからず！外国生まれのスノーシューは平地向き。大きくて小回りかきかないので、急斜面には向かないのです。以前紹介した [猛禽調査の罠](#) など、輪かんじきでなくてはとてできません。

はあ～、昔の人はなっからよく考えたもんだいのお【群馬弁】(種代)

【完成！】

3 関東森林管理局業務・林業技術等発表会への参加

関東森林管理局では、日常業務を通じてそれぞれの職務にある者が培ってきた林業技術、森林環境教育や国民参加の森林づくり等の成果を発表することにより、これらの成果の普及を図るとともに、この取組を通じて人材育成及び職場の活性化に資することを目的として、「業務・林業技術等発表会」を開催しています。

平成22年度は赤谷プロジェクトエリアが含まれる利根上流森林計画区に係る地域管理経営計画の策定と協定更新となる節目の年に当たることから、「赤谷プロジェクト発足8年目を迎えるに当たって～赤谷の森管理経営計画書の策定～」と銘打ち、これまでの取組について発表しました。

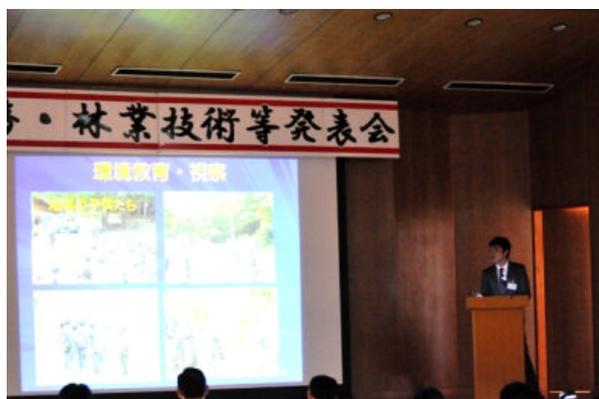


プレゼンテーションの一部

赤谷プロジェクトの成り立ちや仕組み、協働三者の期待などを紹介し、最後に赤谷の森管理経営計画書の概要を説明しました。

時間的制約もあり、細部まで紹介することができませんでしたが、関東森林管理局内で赤谷プロジェクトと直接関わりのない部署の職員等が取組を理解するための一助になればと思います。

今後も、様々な機会を利用し、赤谷プロジェクトの取組を多くの方に知っていただけるよう努めていきます。



発表の様子

4 関東森林管理局広報誌「関東の森林から」への寄稿

赤谷センターでは、関東森林管理局の広報誌である「関東の森林から」へ隔月寄稿することにより、赤谷プロジェクトの近況をお伝えできるように心がけています。平成22年度に掲載した内容は以下のとおりです。



	発行月	内容
第73号	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元小学校で環境教育 ・ 自然教室指導者講習会を開催 ・ 第2回企画運営会議の開催
第75号	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月の「赤谷の日」の活動 ・ 「ムタコの日」実行委員会の開催
第77号	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤谷の森自然散策を開催 ・ 地域の高校生への森林環境教育 ・ 植生管理WG現地検討会
第79号	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域域の小学生に森林環境教育 ・ 「ムタコの日」における森林整備活動
第81号	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林生物多様性見学会 ・ 秋の自然散策
第83号	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヤマビルの被害軽減に向け赤谷の森で落ち葉掃き ・ 環境教育WGプログラム作成に向け現地検討会を実施 ・ 「赤い谷のブログ」を始めました

5 マスメディアの活用

(1) テレビ

番組名：こんにちは いっと6けん (NHK)

放送日時：平成23年2月25日（金）11:05～

番組リポーターとプロナチュラリストの佐々木洋氏が、いきもの村において、雪の上に残された動物の足跡やクマ棚等の動物が活動した痕跡を紹介するための撮影を行いました。



ウサギの足跡の撮影



クマ棚の撮影

(2) 新聞

掲載日	新聞社	タイトル
平成22年 5月 7日	上毛新聞	住民参加で計画策定 「赤谷の森」 整備
5月31日	〃	赤谷の森観察や環境管理など学ぶ(放送大面接授業に10人)
7月 8日	〃	動植物の生態を14人歩いて学ぶ みなかみ「赤谷の森」
8月17日	〃	カラマツの間伐体験 みなかみ ムタコ沢に35人
10月 8日	朝日新聞	治山ダム撤去後1年たち見学会
10月13日	上毛新聞	生物多様性へ理解を「赤谷の森」企業担当者ら成果見学
10月23日	上毛新聞	森林の性質学ぶ みなかみ・赤谷プロジェクト
11月 2日	〃	林道歩き植生学ぶ
平成23年 1月31日	読売新聞	広葉樹林自然に復元
2月 1日	上毛新聞	2000ヘクタール天然林に転換 みなかみ・赤谷の森
2月 1日	毎日新聞	広葉樹自然林を復元 「赤谷の森」5カ年計画案
2月 1日	朝日新聞	森自然の力で再生へ みなかみの溪流復元プロジェクト
2月21日	上毛新聞	樹木の冬芽観察 みなかみで赤谷プロジェクト
2月21日	朝日新聞	春にほころぶ冬芽の観察会

Ⅶ その他の活動

1 赤谷の日

平成22年度の赤谷の日の主な活動は以下のとおりです。

実施日	ホンドテンモニタリング調査	アニマルトラッキング	南ヶ谷湿地調査	木の実豊凶調査（準備を含む）	蝶調べ	炭焼き（準備を含む）	初回講習会	いきもの村自然誌収集・まとめ	いきもの村環境整備	ニセアカシア除去	ヤマビル対策モニタリング	その他の活動
平成22年 4月3～4日	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
5月1～2日	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	
6月5～6日	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	○	
7月3～4日	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	○	猿ヶ京～いきもの村への歩道探し
7月31日 ～8月1日	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
9月4～5日	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
10月9～11日	○	-	○	○	○	○	-	○	○	-	○	溪流調査、ダム撤去現場見学、いきもの村探検ツアー
11月6～7日	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	旧三国街道散策
12月4～5日	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	相俣地区落ち葉掃き
平成23年 1月8～9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	天候悪化のため中止
2月5～6日	○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	縄ない、輪かんじき作り、繭玉作り
3月5～6日	○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	冬芽観察講座、蔓かご材料準備

2 赤谷の森来訪者一覧

実施日	内容	人数	場所
平成22年			
5月13～14日	沖縄弁護士会視察	8	いきもの村ほか
5月16日	放送大学面接授業	11	小出俣
5月29日	恵泉女学園中学・高等学校	32	三国峠ほか
5月30日	赤谷の森自然散策	14	小出俣
6月11日	群馬県立利根実業高等学校環境教育	22	いきもの村
6月12日	千葉市立稲毛中学校環境教育	12	いきもの村
6月18日	群馬県立利根実業高等学校環境教育	23	いきもの村
6月21日	新治中学校1年生遠足	66	小出俣
6月25日	群馬県立利根実業高等学校環境教育	22	いきもの村
7月 5日	日刊建設通信新聞取材	1	いきもの村
7月13日	JICA研修	2	いきもの村
7月16日	群馬県立利根実業高等学校環境教育	20	いきもの村
7月22日	新治小学校5年生環境教育	56	高原千葉村
7月30日	群馬県立利根実業高等学校環境教育	9	小出俣
8月 1日	リバーポリシーネットワーク視察	10	茂倉沢
8月 2～ 5日	湘南学園中学校・高等学校環境教育	18	茂倉沢ほか
8月 8日	ムタコの日	35	ムタコ沢
8月27日	桂川相模川流域協議会視察	28	茂倉沢ほか
9月 7～10日	生物多様性保全研修	15	茂倉沢ほか
9月 9日	千葉市立葛城中学校環境教育	19	いきもの村
10月 5日	沼田北小学校5年生環境教育	64	高原千葉村
10月 7日	COP10現地検討会	12	茂倉沢ほか
10月13日	JICA研修	11	茂倉沢ほか
10月16～17日	放送大学面接授業（上級編）	13	小出俣ほか
10月17日	ムタコの日	20	ムタコ沢
10月20日	みなかみ町立新治小学校6年生遠足	74	三国峠
10月23日	日本林業技師会研修	15	茂倉沢
10月24日	赤谷の森自然散策	19	小出俣
10月29日	千葉県自然観察指導員協議会研修会	23	いきもの村ほか
11月 3日	ニコン主催ツアー赤谷の森の自然観察会	65	いきもの村ほか
11月17日	日本林道協会創立60周年記念現地視察	31	茂倉沢
11月21日	林野庁職員合同勉強会	54	茂倉沢ほか
平成23年			
1月15日	環境NGO「A SEED JAPAN」視察	5	小出俣ほか
2月 3～ 4日	NHK「こんにちはいっと6けん」撮影	6	いきもの村
2月15～16日	対馬市役所等視察	5	いきもの村ほか
2月20日	赤谷の森自然散策	18	いきもの村
3月 4日	千葉市指導者研修	19	いきもの村
合計		877	

注1：赤谷センターが主催・協力した行事で、赤谷の日や委託事業等による調査等を除く。

注2：高原千葉村で赤谷センターが協力した環境教育を含む。

平成22年度赤谷森林環境保全ふれあいセンター活動報告

作成：農林水産省林野庁関東森林管理局赤谷森林環境保全ふれあいセンター
〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町3923-1（利根沼田森林管理署内）

電話：0278-60-1272

FAX：0278-24-5562

E-mail: akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html